

材積表調製業務資料 第51号

高 知 営 林 局

ア カ マ ツ 立 木 材 積 表

昭 和 3 9 年 6 月

林 野 序

高知営林局アカマツ立木材積表

調 製 説 明 書

目 次

緒 言

第 1 地域決定の根拠	1
1. 地域の概要	1
2. 地域の決定	1
第 2 資料の収集	2
1. 資料收集地域	2
2. 資料の選定および調査方法	6
3. 資料の整理	6
第 3 材積式採用の根拠	11
1. $V = 10^a d^{b_1} h^{b_2}$ 式による標準誤差の計算	11
2. $V = a + b_1 h + b_2 d^2 + b_3 d^2 h$ 式による標準誤差の計算	14
3. $V = a + bd^2h$ 式による 標準誤差の計算	17
第 4 材積表の調製	18
1. 資料の吟味	18
2. 廃却済資料による材積式の再計算	34
3. 10cm直徑級別材積式の比較	37
4. 材積式の決定と材積表の作成	43
5. 材積表の適合度	50
6. 材積表使用上の注意	51
第 5 調製年月日および調製担当者官氏名	54
第 6 引用ならびに参考文献	54

付 表

第1表	資料收集箇所および收集本数	2
第2表	資料收集箇所別地況林況一覧表	4
第3表	當林署別10cm直径級本数一覧表	7
第4表	直径階、樹高階別本数表（資料棄却前）	8
第5表	材積式決定のための資料	12
第6表	平方和、積和の計算	13
第7表	回帰係数の計算	14
第8表	平方和、積和の計算	15
第9表	簡略 Doolittle 法による解法	16
第10表	平方和、積和および相関係数の計算（資料棄却前）	18
第11表	簡略 Doolittle 法による解法	19
第12表	棄却資料一覧表	22
第13表	直径階、樹高階別本数表	24
第14表	直径階、樹高階別平均材積表	27
第15表	平方和、積和および相関係数の計算（資料棄却後）	34
第16表	簡略 Doolittle 法による解法	35
第17表	重相関係数の有意性の検定	37
第18表	10cm 直径級別積和および二乗和など	38
第19表	直径級別平方和および積和	39
第20表	直径級別回帰係数	39
第21表	直径級別回帰に帰因する平方和など	39
第22表	分散の一様性の検定	40
第23表	材 積 式	43
第24表	材 積 表	44

付 図

第1	資料收集位置図	3
第2	従来の材積表との比較	52
第3	平均材積との比較	53

緒 言

当局において、従来使用していた針葉樹立木材積表は、林学博士戸沢又次郎氏が大正5年に作成されたもので、胸高直径の測定位置は地上1.3mであったが、昭和26年8月、26年林野第11,231号通達「主要樹種立木材積表調製資料測定要綱」、昭和30年9月、林野第14,745号「主要樹種立木材積表調製要綱」に基いて、これを地上1.2mに改め、前記材積表の適合度検定の結果、適当でないことが判明した。そこでスギ、ヒノキについて、次に示すように、順次新しい材積表を譲製した。

さらに、昭和33年6月11日、33林野第6,981号「国有林野産物収穫調査規程準則」により、胸高直径の測定位置が地上1.2mと定められたため、スギ、ヒノキ以外の針葉樹についても、材積表を改訂することが必要となり、モミ、ツガについても、次のように新たに材積表を調製し現在使用している。

スギ人工林	立木材積表	材積表調製業務資料 第14号	昭和34年4月1日から適用
ヒノキ人工林	"	" 第17号	昭和35年4月1日 "
スギ天然生林	"	" 第19号	" "
ヒノキ天然生林	"	" 第25号	昭和36年4月1日から適用
ツガ "	"	" 第38号	昭和37年4月1日 "
モミ "	"	" 第44号	昭和38年4月1日 "

アカマツについても、モミ、ツガについて、昭和35、36、37年度において、資料2,550本を收集し、上記調製要綱に基いて、新材積表を作成した。

これによって、昭和27年度から着手した、当局における針葉樹立木幹材積表の作成は、終了したので、大正5年以来使用されていた、針葉樹立木幹材積表は、今後適用されない。

本材積表調製にあたり、林業試験場測定研究室長大友栄松氏、同室栗屋仁志氏の特別のご指導を賜わり、また資料収集に際し、ご協力をいただいた管内関係営林署長および署員各位に対し、深く謝意を表するものである。

昭和39年2月

高知営林局長 鳥 生 真 夫

高知営林局アカマツ立木材積表 調 製 説 明 書

第1 地域決定の根拠

1. 地域の概要

当局管内国有林は、東西に長く、南北に狭く、石鎚山(1,981m) 剣山(1,955m) の二峰が東西にそびえて、四国を南北に隔絶し、南東に室戸岬、南西に足摺岬があって、土佐湾をいだいている。したがって、太平洋岸は、その影響をうけて、森林植生も多様を極めており、亜熱帯より亜寒帯におよんでいる。足摺岬および室戸岬には、アカウ、ビロウなどの亜熱帯性の群落があり、沿岸には、ホルトノキ、タブ、ウバメガシなどの暖帯南部の樹種があり、さらに低山地帯にかけて、シイ、カシを中心とする暖帯性の植生が発達し、標高600~1,200mにかけては、モミ、ツガを中心とする針葉樹と、カヘデ、ミヅメなどの広葉樹によって林相が構成されている。その上部、標高1,200~1,800mにはブナを中心とする温帯性の広葉樹があり、さらに、四国山脈の頂上附近には、シコクシラベ、ダケカンバなどの亜寒帯性林分も分布している。太平洋岸に比べて瀬戸内海方面は、著しく地勢、気象、植生を異にしている。すなわち、石鎚山、その他の高峰は、結晶片岩系の峻険な石鎚山脈を構成しておるが、阿波讃岐国境の讃岐山脈は、比較的緩やかな白亜層の和泉砂岩系の山地をなし、讃岐丘陵は、花崗岩、安山岩よりなっている。河川はおもに、石鎚山、讃岐山脈に源を発し、瀬戸内海に注いでいるが、傾斜が急で、平時流量が少なく降雨があれば天井川となるものが多い。

瀬戸内海方面の気象は、四国山脈と季節風との関係により、太平洋岸とでかなり差異がある。太平洋側は、年平均気温16~17°Cくらいであるが、瀬戸内海沿岸は15°C程度で太平洋側にくらべてやゝ低い。雨量は太平洋側は2,000mm程度であるが、山岳地域は、特に多く3,000~4,000mmに達する。これに対して、瀬戸内海方面は、四国山脈にさえぎられて雨量少なく、およそ1,500mm程度で、特に高松、今治等の海岸沿いでは、1,000mmに達しない所もあり、著しい差異がみられる。

アカマツは、おもに高知県西南部地方および瀬戸内海方面に分布し、天然生林がおもであって、人工林は少ない。成長も天然生林の方がはるかによい。人工林は中村営林署管内などに比較的多い。川崎営林署管内の王道松は天然生であって、古くから世に知られている。

瀬戸内海沿岸のアカマツは、成長が良好でなく、樹形が矮小である。しかし、高松営林署管内でも、県境になると成長がよい。西南地方の宇和島営林署管内のアカマツ林は、高知県西部地方のアカマツと大体同じである。

2. 地域の決定

アカマツ林はさきに述べたように主として四国西南部および瀬戸内海方面に分布しているが、このなかで西条、高松営林署管内の内海沿岸地方のものは、樹形が矮小で他との相違が認められるが、蓄積は僅かであり、また、管内には人工林も少ないので、本材積表は人天別および管内の地域区分を行なわず、高知営林局管内の国有林内に生育しているアカマツを対象として調製することとした。

第 2 資 料 の 收 集

I. 資料收集地域（第1図）

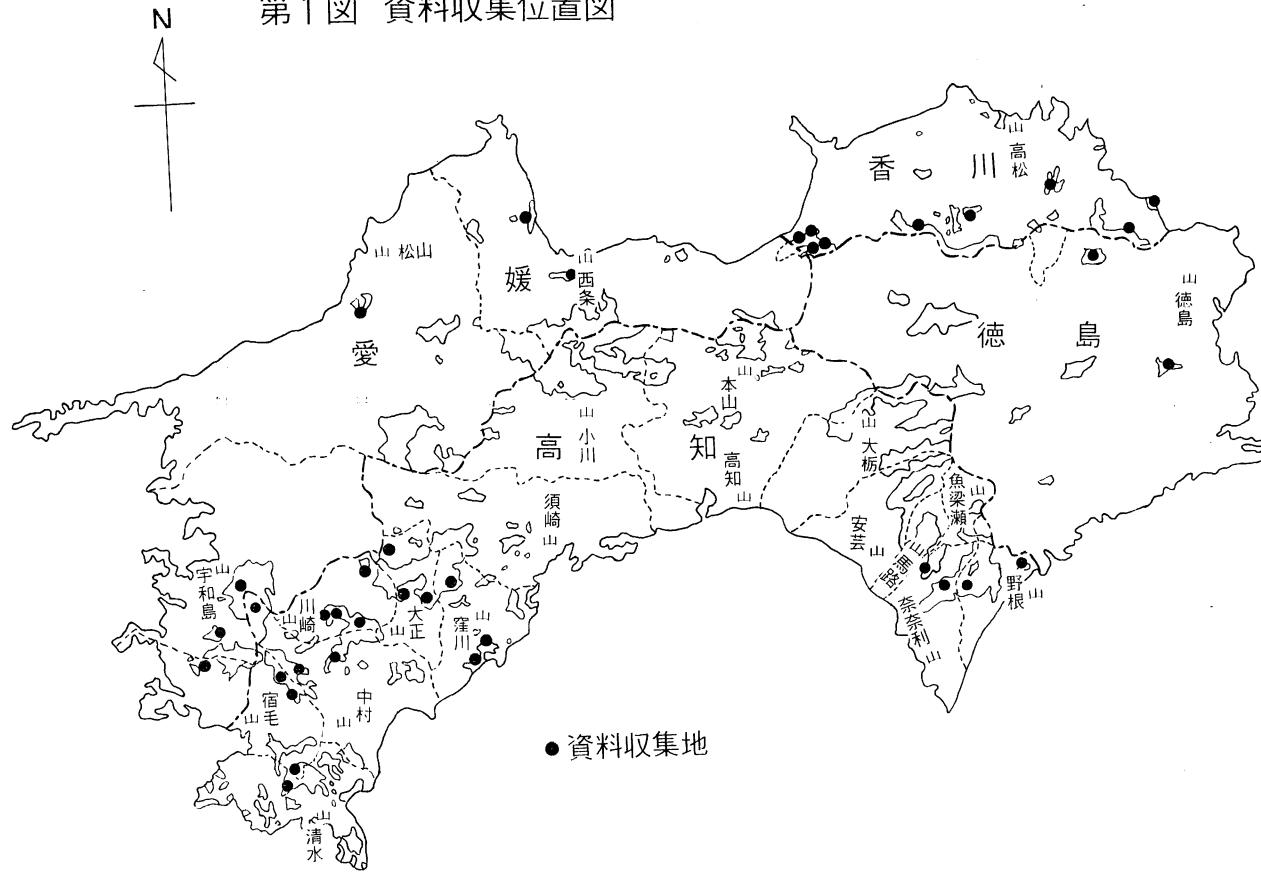
箇所ならびに収集本数は、第1表のとおりであつて、おもに立木処分の主伐箇所で調査した。

第1表 資料收集箇所および収集本数

當 林 署	事 業 区	主 間 伐	林 小 班	収集本数
野 根	野 根	主 伐	佐喜浜4い 82いろ	90
奈 半 利	奈 半 利	〃	2に 40い	71
窪 川	窪 川	〃	50い2ろ 107と 111ろ	158
大 正	大 正	〃	10い 57い 75ろ	159
川 崎	川 崎	〃	14い 16い 28ろ 60い	265
中 村	中 村	〃	15ろ 49ろ 63ろ	146
宿 毛	宿 毛	〃	5ほ 42ほ 46ほ 91に	367
清 水	清 水	〃	1,056いろち	185
宇 和 島	宇 和 島	〃	1,005ほ 1,022は	210
松 山	松 山	〃	33いろはほ	189
西 条	西 条	〃	56い 63ろ	156
高 松	高 松	〃	富田1い 粉所3い 5い 6い 10ろ 62は 63い 68に 69ろ1 70へ 71よ 72ね 78い2 81に1	513
徳 島	徳 島	〃	御所1い 生比奈2い	41
計				2 550

注 地名付の林小班は官行造林地である。

第1図 資料収集位置図



第2表 資料収集箇所別地況林況一覧表

事業区	林小班	施業団	地況				林況					備考	
			地(地位)	方 位	傾 斜	基 岩 性	深結合度	林 令	面積	総蓄積	N _L	別蓄積	ha当N _L
野根	82い	皆用	2(1)	N E	急	砂質砂壌 岩岩土土	中軟適	年	ha	m ³	m ³	m ³	アカマツ ha当 8
	ろ "	"	2(1)	"	"	" " " "	" " "	37	6.79	400	N L	54 346	8 51
奈半利	2に	"	3(1)	S	"	砂壌砂土	浅軟乾	47	11.80	1,038	N L	342 696	29 59
窪川	107い	"	2(1)	S W	"	砂質砂壌 岩岩土	中軟適	20 17~50	18.00	2,232	N L	234 1,998	13 111
	111ろ	"	2(1)	S, W, N E	"	" " " "	" " "	70	34.70	2,443	N L	1,764 679	130 50
大正	75ろ	"	2(2)	N, N E	"	砂 壤	" " "	34	7.11	1,351	N L	1,351 —	190 —
川崎	14い	"	2(1)	S W	"	岩 砂質礫	" " "	60 15~65	10.42	1,934	N L	1,301 633	125 61
	16い	"	2(1)	E, S E	"	岩岩岩	" " "	63 62~65	67.31	21,405	N L	19,560 1,845	291 27
	60ろ	"	2(2)	E N	"	埴 土	" " "	100 94~114	36.09	11,189	N L	9,622 1,567	267 43
中村	49ろ	"	2(1)	W	"	砂質砂壌	" " "	58 18~78	8.17	2,623	N L	1,389 1,234	170 151
	63ろ	"	2(1)	S	"	岩岩土土	" " "	74 24~114	49.62	15,084	N L	10,420 4,664	210 94
宿毛	5ほ	"	2(1)	N	中	粘 板岩	" " "	42	27.46	5,314	N L	1,880 3,434	68 125
	46い	"	1(1)	S W, S, S W	急	埴 土 礫 壤	" " "	55	33.44	5,765	N L	5,165 600	154 18
清水	1056い	"	2(1)					23 19~55	18.10	3,653	N L	1,359 2,294	75 127
	ろ "	"	2(1)					73	17.96	4,636	N L	1,637 2,999	91 167
宇和島	1005ほ	"	2(2)	S	急	砂質砂壌 岩岩土	中軟適	53	40.99	3,443	N L	3,443 —	84 —

事業区	林小班	施業団	地況				林況					備考		
			地位	方位	傾斜	基岩性	深結合度	年	ha	m ³	m ³			
西 条	56い	皆用	3(1)	SW	緩	花崗岩	浅粗乾	60 50~70	30.61	3,061	N 2,969 L 92	N 97 L 3	アカマツ ha当56	
	63ろ	"	2(1)	N	中	砂岩	"堅"	60 50~70	8.96	517	N 517 L -	N 53 L -	" 52	
松 山	33い	"	2(1)	SW, N	急	砂貢砂埴 岩土	中軟適	53 52~54	108.4	19,447	N 19,447 L -	N 180 L -	" 150	
	ろ	"	2(1)	S	中	" "	"乾	37	3.25	293	N 293 L -	N 90 L -	" 80	
高 松	ほ	"	3(1)	E, NW	急	" "	"適	53	26.03	3,254	N 3,254 L -	N 125 L -	" 85	
	5魚	つ き	2.8 3.2	1	SE	"	花崗岩	浅粗乾	72 8~82	19.61	2,157	N 2,157 L -	N 110 L -	" 88
	6い	"	2.7 3.3	(1)	N, NE	"	砂壠	"	58.19	7,565	N 7,565 L -	N 130 L -	" 78	
	68に	皆用	2.2 3.8	2	S	"	砂貢砂埴	軟堅乾	70 2~140	45.70	6,398	N 6,398 L -	N 140 L -	" 133
	69ろ1	部分林	2.3 3.7	1	SW	"	岩土	中軟適	72	8.65	1,384	N 1,384 L -	N 160 L -	" 144
	70~	"	2.2 3.8	(1)	N, NE	"	" "	" "	67	8.30	1,494	N 1,494 L -	N 180 L -	" 171

2. 資料の選定および調査方法

調製要綱に準拠して実施したが、大要次のとおりである。

- (1) 調査木はなるべく各直径階、樹高階にわたって選定し、その幹形著しく不整なるものは除外した。
その結果 4~96cm の範囲のものが、調査された。
- (2) 胸高直径は地上 1.2m の位置を輪尺により mm 単位で測定した。なお、その他の位置における直径も胸高直径と同じ要領で測定した。
- (3) 樹高および枝下高の測定は巻尺により m 単位で、単位以下 1 位まで測定した。
- (4) 幹材積は、地際より 2m 区分のフーベル式区分材積および梢頭材積に分ち、両材積を合計して算出した。
- (5) その他、樹皮の厚さ、根元部分の周囲、伐採面の高さ等を調製要綱に基いて測定した。

3. 資料の整理

以上の調査方法にもとづいて、収集した資料を営林署ごとに取りまとめた結果は、第 3 表のとおりである。

なお、各調査木の直径階、樹高階別本数を表示すれば第 4 表のとおりである。

第3表 営林署別10cm直径級本数一覧表

事業区	林小班	4~10 cm	12~20	22~30	32~40	42~50	52~60	62~70	72~80	82~90	92~100	計	
野根	官造 4い 82い ろ		7 11	2 19 3	4 18 4	14 4	4					13 66 11	
奈半利	2に 40い	1	13 2	13 4	9 5	7 9	5	1	2			43 28	
窪川	50い2 ろ 107と 111ろ			1	1	1	5 5	4 7	2 8	1	1	14 22 67 55	
大正	10い 57い 75ろ	4	19	28	35	27	15	7	2	1		21 1 137	
川崎	14い 16い 28ろ 60い	7	6 35	38 6	39 1	38 1	3 1					125 48 13 79	
中村	15ろ 49ろ 63ろ		13 12	14 27	34	19	14	4		2	1	5 27 114	
宿毛	5ほ 42ほ 46い 91に		9 1	34 9	34 9	38 11	31 4	4	1			151 35 86 95	
清水	1056い ろ う	43 6	6 30 4 10	12 4 14	20	2						40 77 68	
宇和島	1005ほ 1022ほ	1	6 19	22 31	24 38	14 28	1 23				1	67 143	
松山	33い ろ は ほ		1 1 32	5 7 33	1 11 31	1 10 19	1 3	1				9 29 32 119	
西条	56い 63ろ	6 46	9 23	11 26	8 19	4 4						38 118	
高松	官造 1い 官造 3い 5い 6い 10ろ 62ほ 63い 68に 69ろ1 70へ 71よ 72ね 78い2 81に1	3 1	13 16 5 5 2 1 17 10 17 1 6 72	5 15 3 1 1 1 13 9 16 11 13 21 5 7 12 10 19 10 4 3 6 4 3 6 4 3 1								21 44 12 9 6 39 22 40 56 35 54 11 96 62	
徳島	官造 1い 官造 2い	7	4 29	4 5								8 41	
計			233	457	577	607	409	191	49	17	6	4	2,550

第4表 直 径 階、樹 高 階 別 本 数 表 (資料集却前)

樹高 m 直 徑 cm	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	計
4	3	10	11	3	1																													28		
6	3	6	12	11	14	7	4	1	1	1																							60			
8		6	13	16	5	12	4	5	3																								64			
10		2	4	14	6	11	10	16	8	5	3	2																				81				
12			1	3	3	7	10	10	10	7	6	5	1	2																	65					
14			2	2	4	5	8	10	10	8	7	8	7	2	1																77					
16			2	5	5	7	10	9	10	8	9	10	6	5	3	2	1													92						
18		2	3	5	3	6	4	11	10	10	11	10	10	6	3	5		3												102						
20		2	2	4	8	10	10	10	10	10	10	10	10	7	10	2	3	1	2										121							
22		1	3	3	5	9	10	7	10	10	10	10	10	7	8	7	7	2	1	2									112							
24		1	3	7	4	7	9	10	10	10	10	10	10	7	9	8	3	2	1										111							
26		1	3	2	8	5	10	10	10	10	10	10	10	9	10	7	7	5	4	1									112							
28		2	2	2	6	4	7	9	10	10	10	10	10	9	9	10	9	3	4	1	1	1							119							
30		3	1	6	3	5	9	10	10	10	10	10	10	9	9	9	7	5	2	3	1	1							123							
32		1	1	2	6	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	8	6	2	2	1	2						125							
34		1	3	6	8	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	7	7	5	3	4	2	1	1				126								
36		1	2	1	4	2	7	10	8	10	10	10	10	10	10	10	10	8	6	5	2	1	2	3				122								
38		1	1	2	4	3	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	8	5	2	2	1	2	1			121								
40		1	1	1	3	5	3	10	9	10	10	10	9	10	8	8	8	6	2	4	3	2	2	1				112								
42		1	1	3	2	4	10	5	10	10	10	10	9	7	5	7	3	4	6	2	3	1	2					104								

樹高 m 直徑 cm	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	計
86																											1	1					2			
88																			1														1			
90																																				
92																					1													1		
94																											1						2			
96																																		1		
計	6	16	31	32	52	31	58	54	84	91	104	108	136	145	170	170	179	168	177	164	152	101	108	56	46	33	24	23	11	10	6	3	1	2,550		

第3 材積式採用の根拠

全資料中より各直徑階、樹高階にわたり、資料 382 本（第 5 表）を選び出し、次の 3 つの材積式を用いて、それぞれ標準誤差を算出し、その最小の式を採用した。

$$a \quad v = 10^a d^{b_1} h^{b_2}$$

$$b - v = a + b_1 h + b_2 d^2 + b_3 d^2 h$$

$$c - v = a + bd^2h$$

v.....材積 d.....胸高直徑 h.....樹高

$a, b_1, b_2, b_3 \dots$ 定数

次に各式による標準誤差の算出について述べると次のとくである。

1. $v = 10^a d^{b_1} h^{b_2}$ 式による標準誤差の計算

今材積式を一次の式に変換するため両辺の対数をとれば、

となる。

$\log v = Y$, $\log d = X_1$, $\log h = X_2$ とすれば(1)式は、

となる。ただし、

$$a = \bar{Y} - b_1 \bar{X}_1 - b_2 \bar{X}_2$$

平方和、積和の計算

前掲 $Y = a + b_1X_1 + b_2X_2$ 式の計算に必要な因子を算出すると、第6表のとおりである。実測材積 V の対数は便宜上 $V \times 1000$ の6桁の対数を使用した。

第5表 材積式決定のための資料

直径 cm	樹高 m	材積式決定のための資料																													計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
4		1	1	1	1																											4
6		1	1	1	1	1																										5
8		1	1	1	1	1	1	1	1																						7	
10		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																	9		
12		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9		
14		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10		
16		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12		
18		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13	
20		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13	
22		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14	
24		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15	
26		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14	
28		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15	
30		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15	
32		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15	
34		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15	
36		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15	
38		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15	
40		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15	
42		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	17	
44		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	17	
46		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13	
48		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15	
50		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13	
52		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
54		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	
56		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	
58		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	
60		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	8	
62		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	
64		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	
66		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	5	
68		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	
70		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	
計		2	3	4	5	7	9	9	12	13	14	15	18	17	19	19	20	23	23	23	22	19	21	20	13	10	8	7	7	382		

第6表 平方和、積和の計算

$n = 382$	X_1	X_2	Y
和	571.215056	478.532183	1,066.990312
平均	1.495327	1.252702	2.793168
X_1			
1. $\sum X_1^2$ など	877.76698929	728.85968454	1,651.27953591
2. 補正項	854.15350838	715.56227149	1,595.49981890
3. sX_1^2 など	23.61348091	13.29741305	55.77971701
X_2			
1. $\sum X_2^2$ など		610.58074958	1,371.43138640
2. 補正項		599.45824651	1,336.62095089
3. sX_2^2		11.12250307	34.81043551
Y			
1. $\sum Y^2$			3,115.72915846
2. 補正項			2,980.28357566
3. sY^2			135.44558280

回帰係数の計算

簡略 Doolittle 法で回帰係数を計算すると第7表のとおりである。

第7表 回帰係数の計算

行	b_1	b_2	G	計	check
(1)	23.61348091	13.29741305	55.77971701	92.69061097	55.77971701
(2)		11.12250307	34.81043551	59.23035163	34.81043551
(3)	23.61348091	13.29741305	55.77971701	92.69061097	
(4)	1	0.56312803	2.36219798	3.92532602	3.92532602
(5)		3.63435702	5.39951321	7.03367023	7.03367023
(6)		1	0.93532726	1.93532726	1.93532726
(8)	(7)を(4)に代入	$b_1 =$	1.83548898		
(7)		$b_2 =$	0.93532726		

check

$$(1.8354889825) (23.61348091) + (0.9353272637) (13.29741305) = 55.7797170111$$

$$(1.8354889825) (13.29741305) + (0.9353272637) (11.12250307) = 34.8104355110$$

回帰方程式

第7表で求めた回帰係数 b_1 、 b_2 の値を上記(2)式に代入する。

$$\hat{Y} = 1.83548898X_1 + 0.93532726X_2 - 1.123174$$

回帰に帰因する平方和

$$\sum \hat{y}^2 = 134.94220514$$

回帰からの偏差の平方和

$$\sum dy_{X_1 X_2}^2 = 0.50337766$$

推定の誤差の分散と標準誤差

$$sy.x_{1 X_2}^2 = 0.00132817$$

$$sy.x_{1 X_2} = 0.03644407$$

次に、本式は対数を使ってるので、さらに次式によって真数による標準誤差を算出しなければならない。

$$\text{標準誤差} = \left\{ \frac{1}{n-(k+1)} \sum (\bar{V} - V)^2 \right\}^{1/2}$$

V = 実材積

\bar{V} = (材積式から計算した Y の真数) × 修正係数

k = 独立変量の個数

$$\text{修正係数} = 10 \exp \frac{n-1}{n} (sy.x_{1 X_2})^2 \times 1.151293 = 1.0355$$

$$\sum (\bar{V} - V)^2 = 10.26930086$$

したがって、

$$\text{標準誤差} = \sqrt{\frac{10.26930086}{382-(2+1)}} = 0.16460796$$

2. $v = a + b_1 h + b_2 d^2 + b_3 d^2 h$ 式による標準誤差の計算

材積式を簡単な形で表わすため

$$h = X_1, \quad d^2 = X_2, \quad d^2 h = X_3, \quad V = Y$$

とすれば、上式は次のように表わすことができる。

$$Y = a + b_1 X_1 + b_2 X_2 + b_3 X_3$$

平方和、積和の計算

第8表 平方和、積和の計算

n=382	X ₁	X ₂	X ₃	Y
和 平 均	7307.0 19.12827225	58.801015 0.15392936	1,317.536936 3.44904957	433.1229 1.13382958
X ₁ 1. S X ₁ ² など	154,610.22	1,317.5369356	30.857.51940664	10,075.02985
2. 補正項	139,770.28534	1,124.76182357	25.202.20521296	8,284.89275
3. S X ₁ ² など	14,839.93466	192.77511203	5,655.31419368	1,790.13710
X ₂ 1. S X ₂ ² など		14.46250884	340.86904739	110.49710547
2. 補正項		9.05120253	202.80761554	66.67033021
3. S X ₂ ² など		5.41130631	138.06143185	43.82677526
X ₃ 1. S X ₃ ² など			8,263.85046023	2,670.32482925
2. 補正項			4,544.25020347	1,493.86235230
3. S X ₃ ² など			3,719.60025676	1,176.46247695
Y 1. S Y ²				872.85872077
2. 補正項				491.08755629
3. S Y ²				381.77116448

回帰係数の計算

積和、平方和の値を見ると、オーダーは 100,000の桁から 1桁まで変化しており、このまゝ最小二乗法で解くには不便であり、また誤差を生じやすいので、小数点の位置を整えるため、次のとおり小数点の位置を移動させる。

$$A = \begin{pmatrix} 14,839.93466 & 192.77511203 & 5,655.31419368 \\ 192.7751120 & 5.411306314 & 138.06143185 \\ 5,655.31419368 & 138.06143185 & 3,719.60025676 \end{pmatrix}$$

$$D = \begin{pmatrix} 0.01 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 0.01 \end{pmatrix} \text{ を } A \text{ の両側より乘すれば、}$$

$$B = DAD$$

$$\begin{pmatrix} 1.483993466 & 1.927751120 & 0.565531419368 \\ 1.92775112 & 5.411306314 & 1.3806143185 \\ 0.565531419368 & 1.3806143185 & 0.371960025676 \end{pmatrix}$$

列ベクトル

$$g = \begin{pmatrix} 1,790.1371 \\ 43.82677526 \\ 1,176.46247695 \end{pmatrix}$$

$$h = Dg\lambda \begin{pmatrix} 1.7901371 \\ 4.382677526 \\ 1.17646247695 \end{pmatrix}$$

原方程式 A. $\mu = g$ を解くかわりに、
方 程 式 B. $v = h$ を簡略Doolittle法で解く。

第9表 簡略Doolittle法による解法

行	b_1	b_2	b_3	G	計	check
I 1)	1.48399347	1.92775112	0.56553142	1.79013710	5.76741311	1.79013710
		5.41130631	1.38061432	4.38267753	13.10234928	4.38267753
			0.37196003	1.17646248	3.49456824	1.17646248
II 4)	1.48399347	1.92775112	0.56553142	1.79013710	5.76741311	
	1	1.29902939	0.38108754	1.20629716	3.88641408	3.88641408
III 6)		2.90710096	0.64597239	2.05723633	5.61031018	5.61031018
		1	0.22220501	0.70765923	1.92986424	1.92986424
IV 8)			0.01290475	0.03713521	0.05003996	0.05003996
			1	2.87763891	3.87763892	3.87763891
V 12)			$v_1 =$	0.0210275564		
11)			$v_2 =$	0.0682334591		
10)			$v_3 =$	2.877638909		

check

$$(0.0210275564)(1.483993466) + (0.0682334591)(1.927751120) + (2.877638909)(0.5655314194) = 1.79013710$$

$$(0.0210275564)(1.927751120) + (0.0682334591)(5.411306314) + (2.877638909)(1.380614319) = 4.38267753$$

$$(0.0210275564)(0.5655314194) + (0.0682334591)(1.380614319) + (2.877638909)(0.3719600257) = 1.17646248$$

得られた結果を元のオーダーに直すと、

回帰係数

$$\mu = Dv\lambda^{-1}$$

$$v = \begin{pmatrix} 0.0210275564 \\ 0.0682334591 \\ 2.877638909 \end{pmatrix} \quad \lambda = 10^{-1} \quad D = \begin{pmatrix} 0.01 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 0.01 \end{pmatrix}$$

故に

$$\mu = \begin{pmatrix} 0.00210275564 \\ 0.682334591 \\ 0.2877638909 \end{pmatrix}$$

回帰に帰因する平方和

$$\hat{S}y^2 = 372.21217222$$

回帰からの偏差の平方和

$$Sdy \cdot x_1 x_2 x_3^2 = 9.55899226$$

推定の誤差の分散と標準誤差

$$sy \cdot x_1 x_2 x_3^2 = 0.02528834$$

$$sy \cdot x_1 x_2 x_3 = 0.15902303$$

3. $v = a + bd_2h$ 式による標準誤差の計算

d_2h をXとすれば、上式は次のように表わすことができる。

$$Y = a + bX$$

平方和、積和の計算

n = 382	X	Y
和	1,317.536936	433.1229
平均	3.4490496	1.1338296
X 1. $S X^2$ など	8,263.85046023	2,670.32482925
2. 補正項	4,544.25020347	1,493.86235230
3. $s x^2$ など	3,719.60025676	1,176.46247695
Y 1. $S Y^2$		872.85872077
2. 補正項		491.08755629
3. $s y^2$		381.77116448

回帰からの偏差の平方和

$$Sd\bar{y}x^2 = Sy^2 - \frac{(Sxy)^2}{Sx^2} = 9.67097717$$

推定の誤差の分散と標準誤差

$$sy \cdot x^2 = 0.02544994$$

$$sy \cdot x = 0.15953034$$

以上の計算によつて、各式による標準誤差を再掲すると次のとおりである。

材 積 式	標 準 誤 差
a) $v = 10a + b_1h + b_2d^2$	0.16460796
b) $v = a + b_1h + b_2d^2 + b_3d^2h$	0.15902308
c) $v = a + bd^2h$	0.15953034

上表において、 $v = a + b_1d^2 + b_2h + b_3d^2h$ 式による標準誤差が、最小であるから、この式を探用し調製の計算を進めることとした。

第 4 材 積 表 の 調 製

I. 資 料 の 吟 味

(1) 吟味の方針

収集資料の中には測定の誤り、あるいは著しく一般的傾向から離れた材積を有するものがあり、このために材積式に偏りが生ずるのを避けるため全資料について直径、樹高に対する幹材積の関係を検討し、一般的傾向と著しく差のあるものは不適当な資料として除外した。

(2) 資料吟味のための材積式の計算

平方和、積和および相関係数の計算

前掲 $v = a + b_1 h + b_2 d^2 + b_3 d^2 h$ 式の計算に必要な因子を算出すると第10表のとおりである。

ただし、 $X_1 = h$ $X_2 = d^2$ $X_3 = d^2 h$

第10表 平方和、積和および相関係数の計算（棄却前資料）

$n = 2,550$	X_1	X_2	X_3	Y
和 平 均	45,888.9 17.9956471	312.630554 0.1226002	6,615.727992 2.5944031	2,172.6447 0.8520175
X_1 1. $S X_1^2$ など 2. 補正項 3. $s_{X_1^2}$ など 4. $\sqrt{s_{X_1^2}}$ など 5. 相関係数	912,179.69 825,800.45 86,379.24 293.90345	6,615.7279918 5,625.9591096 989.738822 1,731.79997	147,367.63471478 119,054.30598121 28,303.32873357 42,284.46615	48,170.10446 39,098.14721 9,071.95725 13,746.12051 0.65996
X_2 1. $S X_2^2$ など 2. 補正項 3. $s_{X_2^2}$ など 4. $\sqrt{s_{X_2^2}}$ など 5. 相関係数		73.04908235 38.32857384 31.12150851 5.89241	1,585.83468749 811.05968912 744.74499837 847.75274 0.91388	514.59038976 266.36671224 248.22367752 275.59320 0.90069
X_3 1. $S X_3^2$ など 2. 補正項 3. $s_{X_3^2}$ など 4. $\sqrt{s_{X_3^2}}$ など 5. 相関係数			37,863.00655950 17,163.86543691 20,699.14112259 143.87196	12,278.33022587 5,636.71621900 6,641.61400687 6,729.01691 0.93701
Y 1. $S Y^2$ 2. 補正項 3. s_y^2 4. $\sqrt{s_y^2}$				4,038.64574179 1,851.13138958 2,187.51437221 46.77087

行列式の元の小数点の移動

$$\mathbf{A} = \begin{pmatrix} 86,379.24 & 989.7388822 & 28,303.32873357 \\ 989.7388822 & 34.72050851 & 774.74499837 \\ 28,303.32873357 & 774.74499837 & 20,699.14112259 \end{pmatrix}$$

$$\mathbf{D} = \begin{pmatrix} 0.01 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 0.01 \end{pmatrix} \text{ を } \mathbf{A} \text{ の両側より乘すれば、}$$

$$\mathbf{B} = \mathbf{DAD} = \begin{pmatrix} 8.637924 & 9.897388822 & 2.830332873357 \\ 9.897388822 & 34.72050851 & 7.7474499837 \\ 2.830332873357 & 7.7474499837 & 2.069914112259 \end{pmatrix}$$

$$\text{列ベクトル } \mathbf{g} = \begin{pmatrix} 9071.95725 \\ 248.22367752 \\ 6641.61400687 \end{pmatrix}$$

$$\mathbf{h} = \mathbf{Dg}\lambda = \begin{pmatrix} 9.07195725 \\ 24.822367752 \\ 6.64161400687 \end{pmatrix} \quad \lambda = 10^{-1} \text{ とする}$$

方程式 $\mathbf{B} \cdot \mathbf{V} = \mathbf{h}$ を簡略 Doolittle 法で解く。

第11表 簡略 Doolittle法による解法

行	b_1	b_2	b_3	G	計	check
I 1)	8.637924	9.897388822	2.830332873	9.07195725	30.437602945	9.07195725
2)		34.72050851	7.747449984	24.82236775	77.187715066	24.82236775
3)			2.069914112	6.641614007	19.289310976	6.64161400
II 4)	8.637924	9.897388822	2.830332873	9.07195725	30.437602945	
5)	1	1.145806425	0.3276635535	1.050247403	3.5237173822	3.5237173815
III 6)		23.3800168070	4.5044363922	14.4276608432	42.3121140355	42.3121140424
7)		1	0.1926618115	0.6170936899	1.8097555010	1.8097555014
IV 8)			0.2746843101	0.8894049834	1.1640892947	1.1640892935
9)			1	3.237916949	4.237916954	4.237916949
V 12)			$V b_1 =$	-0.002989546		
11)			$V b_2 =$	-0.0067292550		
10)			$V b_3 =$	3.237916949		

check

$$\begin{aligned}
 (-0.002989546)(8.637924) + (-0.006729255)(9.897388822) + (3.237916949)(2.830332873) &= 9.07195725 \\
 (-0.002989546)(9.897388822) + (-0.006729255)(34.72050851) + (3.237916949)(7.747449984) &= 24.82236776 \\
 (0.002989546)(2.830332873) + (-0.006729255)(7.747449984) + (3.237916949)(2.069914112) &= 6.6416140094
 \end{aligned}$$

$V_{33} = 3.6405428$	check
$V_{23} = -0.70139357$	$V_{11}(8.637924) + V_{12}(9.897338322) + V_{13}(2.830332873) \approx 1.00000000$
$V_{13} = -0.3892119365$	$V_{12}(9.897338322) + V_{22}(34.72050351) + V_{23}(7.747449984) \approx 1.00000000$
$V_{22} = 0.17790332469$	$V_{13}(2.830332873) + V_{23}(7.747449984) + V_{33}(2.069914112) \approx 1.00000000$
$V_{21} = 0.02597833708$	
$V_{11} = 0.2135329781$	

この表で得られた値を元のオーダーに直す

回帰係数

$$\mu = D v \lambda^{-1}$$

$$v = \begin{pmatrix} -0.002939546 \\ -0.006729255 \\ 3.237916949 \end{pmatrix} \quad \lambda = 10^{-1} \quad D = \begin{pmatrix} 0.01 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 0.01 \end{pmatrix}$$

故に

$$\mu = \begin{pmatrix} -0.0002939546 \\ -0.06729255 \\ 0.3237916949 \end{pmatrix}$$

逆行列を元のオーダーに直すには

$$A^{-1} = D B^{-1} D$$

此処で、

$$B^{-1} = \begin{pmatrix} 0.2135329781 & 0.02597833703 & -0.3892119365 \\ 0.02597833708 & 0.17790332469 & -0.70139357 \\ -0.3892119365 & -0.70139357 & 3.6405428 \end{pmatrix}$$

$$\therefore A^{-1} = \begin{pmatrix} 0.00002135329781 & 0.0002597833703 & -0.00003892119365 \\ 0.0002597833708 & 0.17790332469 & -0.0070139357 \\ -0.00003892119365 & -0.0070139357 & 0.00036405428 \end{pmatrix}$$

回帰に帰因する平方和

$$\hat{S} y^2 = 2,131.08375776$$

回帰からの偏差の平方和

$$sdy \cdot x_1 x_2 x_3^2 = 56.43061445$$

推定の誤差の分散と標準誤差

$$sy \cdot x_1 x_2 x_3^2 = 0.02216442$$

$$sy \cdot x_1 x_2 x_3 = 0.14887720$$

したがって、回帰式 $\hat{Y} = a + b_1 X_1 + b_2 X_2 + b_3 X_3$ に前記の回帰係数の値を代入すれば、

$$\hat{Y} = 0.02560122 - 0.00029395 X_1 - 0.06729255 X_2 + 0.32379169 X_3$$

(3) 資料の棄却

全資料2,550本のおののについてその推定値 \hat{Y} を求め、回帰からの偏差 $Y - \hat{Y}$ の値が、次の棄却帯を越えるものを棄却した。

$$E_{yx_1x_2x_3} = t \cdot s_{yx_1x_2x_3}^2 \left(1 - \left\{ \frac{1}{n} + C_{11}(X_1 - \bar{X}_1)^2 + C_{22}(X_2 - \bar{X}_2)^2 + C_{33}(X_3 - \bar{X}_3)^2 + 2C_{12}(X_1 - \bar{X}_1)(X_2 - \bar{X}_2) + 2C_{23}(X_2 - \bar{X}_2)(X_3 - \bar{X}_3) + 2C_{13}(X_1 - \bar{X}_1)(X_3 - \bar{X}_3) \right\}^{1/2} \right)$$

ただし C_{11} 、 C_{22} 、 C_{33} はガウスのC乗数、 \bar{X}_1 、 \bar{X}_2 、 \bar{X}_3 は、観測値 X_1 、 X_2 、 X_3 の平均値、 n は資料数、 t は自由度 $n - 4$ のt表の99%水準の値である。

この結果、棄却された資料は68本である。その一覧表は第12表のとおりで、それを除いた資料の直径階、樹高階別本数、および平均材積表は第13~14表のとおりである。

第12表 廉却資料一覧表

事業区	林小班	直 径	樹 高	実材積 V	推定材積 \hat{V}	$V - \hat{V}$
宿毛	5ほ	64.0	24.3	2.6804	3.2136	-0.5332
	"	66.1	26.1	3.0562	3.6808	0.6252
	"	78.0	22.7	3.6808	4.4497	-0.7689
	46い	39.6	28.5	0.8457	1.4536	-0.6079
	"	44.2	28.5	1.3862	1.8068	-0.4206
	"	48.1	26.5	1.5873	1.9873	-0.4000
	"	49.3	26.5	1.6305	2.0868	-0.4563
	"	54.7	20.9	1.6019	2.0240	-0.4221
	"	54.0	29.0	1.8506	2.7354	-0.8848
	91に	58.3	20.7	2.6624	2.2746	0.3878
中村	"	60.9	20.8	2.0858	2.4923	-0.4065
	63ろ	47.6	28.9	1.7394	2.1219	-0.3825
	"	54.0	19.3	2.2098	1.8225	0.3873
	"	61.1	28.9	2.7542	3.4852	-0.7310
	"	75.2	25.3	5.1784	4.6126	0.5658
	"	82.6	24.9	4.8163	5.4730	-0.6567
	15ろ	83.0	25.4	5.3044	5.6374	-0.3330
	"	84.7	34.5	6.7853	7.9811	-1.1958
川崎	"	93.1	27.7	9.4131	7.7330	1.6801
	14い	49.4	24.7	1.5307	1.9535	-0.4228
	28ろ	57.9	27.4	2.4665	2.9691	-0.5026
	"	61.4	24.4	3.6631	2.9714	0.1917
	"	65.3	20.5	3.2026	2.8212	0.3814
	"	66.4	26.0	4.1639	3.6999	0.4640
	60い	56.5	25.5	3.0917	2.6322	0.4595
	"	58.1	28.8	2.7613	3.1421	-0.3808
大正	"	61.0	31.0	3.0497	3.7263	-0.6766
	10い	86.4	30.9	8.3942	7.4350	0.9592
	75ろ	49.6	30.8	2.0313	2.4533	-0.4220
	"	51.6	31.6	2.1157	2.7225	-0.6068
	"	53.8	27.5	2.0129	2.5752	-0.5623
	"	55.7	27.7	2.2547	2.7791	-0.5244
	"	55.0	29.2	2.3070	2.8566	-0.5496
	"	60.8	22.4	3.1536	2.6752	0.4784

事業区	林小班	直 径	樹 高	実材積V m ³	推定材積 V m ³	V - V m ³
大 正	75ろ	61.6 cm	26.0 m	2.8124 m ³	3.1868 m ³	-0.3744 m ³
窪 川	50い2	45.2	28.3	2.2960	1.8755	0.4205
	"	55.6	27.2	3.1754	2.7193	0.4561
	"	55.0	28.4	3.4180	2.7785	0.6395
	"	58.6	26.3	3.3570	2.9189	0.4381
	"	57.2	27.0	3.5274	2.8559	0.6715
	"	61.4	25.0	3.7693	3.0445	0.7248
	"	66.0	25.0	4.0520	3.5149	0.5371
	"	66.1	27.2	4.8865	3.8361	1.0504
	"	85.9	30.3	9.1165	7.2062	1.9103
	50ろ	54.0	25.0	2.9272	2.3589	0.5683
	"	57.7	29.1	3.6094	3.1315	0.4779
	"	64.9	23.4	3.9528	3.1816	0.7712
	"	67.5	23.1	3.7896	3.3959	0.3937
	"	68.4	26.2	4.4113	3.9553	0.4560
	"	70.7	22.1	4.1772	3.5022	0.6150
	"	72.5	30.3	6.2223	5.1380	1.0843
	"	72.3	32.3	6.9785	5.4477	1.5308
	"	73.6	32.4	4.7038	5.6623	-0.9603
	"	77.3	25.0	5.3808	4.8148	0.5660
	"	79.8	22.1	6.1572	4.5330	1.6242
	"	79.0	32.2	8.1520	6.4809	1.6711
	"	94.4	37.0	9.7961	10.6307	-0.8346
	"	59.5	26.2	3.6629	2.9973	0.6656
宇 和 島	1.005ほ	47.4	28.8	1.6455	2.0970	-0.4515
	1.022は	52.8	20.9	1.3322	1.8872	-0.5550
	"	54.0	18.7	1.3755	1.7660	-0.3905
	"	53.4	21.3	2.3631	1.9667	0.3964
	"	53.0	21.1	1.5314	1.9195	0.3881
	"	55.0	26.9	2.1942	2.6320	-0.4378
	"	61.0	20.4	2.0523	2.4523	-0.4000
	"	63.3	25.9	2.9811	3.3512	-0.3701
	"	92.1	24.1	6.0592	6.5805	-0.5213
高 松	71よ	54.6	24.1	1.9308	2.3246	-0.3938

第13表 直 径 階、樹 高 階 別 本 数 表 (資料集却前)

樹高 m 直径 cm	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	計
4	3	10	11	3	1																													28		
6	3	6	12	11	14	7	4	1	1	1																						60				
8		6	13	16	5	12	4	5	3																							64				
10		2	4	14	6	11	10	16	8	5	3	2																			81					
12			1	3	3	7	10	10	10	7	6	5	1	2																	65					
14				2	2	4	5	8	10	10	8	7	8	7	2	1		2	1											77						
16					2	5	5	7	10	9	10	8	9	10	6	5	3	2	1										92							
18						2	3	5	3	6	4	11	10	10	11	10	10	6	3	5	3									102						
20							2	2	4	8	10	10	10	10	10	10	10	7	10	2	3	1	2							121						
22								1	3	3	5	9	10	7	10	10	10	7	8	7	7	2	1		2					112						
24									1	3	7	4	7	9	10	10	10	10	7	9	8	3	2	1							111					
26										1	3	2	8	5	10	10	10	10	9	10	7	7	5	4	1						112					
28										2	2	2	6	4	7	9	10	10	10	9	9	10	9	3	4	1	1	1		119						
30											3	1	6	3	5	9	10	10	10	10	9	9	7	5	2	3	1	1			123					
32											1	1	2	6	5	10	10	10	10	10	10	9	8	6	2	2	1		2		125					
34												1	3	6	8	9	10	10	10	10	10	7	7	5	3	4	2	1		1		126				
36												1	2	1	4	2	7	10	8	10	10	10	10	10	8	6	5	2	1	2	3		122			
38													1	2	4	3	10	10	10	10	10	10	10	10	8	5	2	2	1	2	1		121			
40													1	1	3	5	3	10	9	10	10	9	10	8	8	6	2	4	2	2	1		112			
42													1	1	3	2	4	10	5	10	10	10	9	7	5	7	3	4	6	2	3	1	2	104		

樹高 m 直徑cm	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	計
86																																				
88																	1																1			
90																																				
92																																				
94																																				
96																																	1			
計	6	16	31	32	52	31	58	54	84	91	104	108	136	145	170	170	177	167	170	161	149	97	100	48	39	28	15	21	8	6	6	2	2,482			

11	12	13	14	15	16	17	18	19
0.0276	0.0115							
0.0323	0.0352							
0.0461	0.0551	0.0638	0.0547	0.0655				
0.0554	0.0724	0.0764	0.0871	0.0941	0.0927	0.0972		
0.0806	0.0935	0.1024	0.1136	0.1216	0.1211	0.1327	0.1319	0.1535
0.1084	0.1160	0.1406	0.1371	0.1527	0.1651	0.1659	0.1756	0.1820
0.1257	0.1322	0.1729	0.1791	0.1752	0.1950	0.2079	0.2205	0.2294
0.1571	0.1692	0.1839	0.2096	0.2182	0.2387	0.2553	0.2626	0.2725
0.1892	0.2087	0.2285	0.2537	0.2753	0.2827	0.3107	0.3089	0.3392
0.2333	0.2414	0.2624	0.3065	0.3247	0.3329	0.3392	0.3597	0.4037
0.2579	0.2947	0.3021	0.3312	0.3666	0.3913	0.4285	0.4087	0.4405
0.3164	0.3395	0.3673	0.3893	0.4099	0.4312	0.4637	0.4831	0.5082
0.3777	0.3861	0.4117	0.4426	0.4475	0.5085	0.5200	0.5562	0.5915
0.4432	0.4679	0.5055	0.4662	0.5279	0.5624	0.6182	0.6087	0.6289
0.4815	0.4969	0.4950	0.5532	0.5522	0.6302	0.6187	0.7207	0.7382
0.4340	0.4929	0.5473	0.6961	0.6585	0.7015	0.7517	0.7473	0.8393
		0.5557	0.6118	0.6009	0.6657	0.7671	0.8110	0.9640
0.5164		0.7324	0.7762	0.8054	0.8346	0.8537	0.9617	1.0322
	0.6123		0.8108	0.8688	0.9354	0.9633	1.0443	1.0883
			0.8308	0.9144	0.9455	1.0475	1.1111	1.1866
			0.8421	1.0352		1.1486	1.1856	1.2563

20	21	22	23	24	25	26	27	28
	0.1461	0.1564						
0.1855	0.2013	0.1983						
0.2685	0.2714		0.2737					
0.2935	0.3099	0.2008	0.3027	0.3362	0.3662			
0.3277	0.3702	0.3681	0.4150	0.4018		0.4239		
0.4292	0.4450	0.4219	0.4970	0.4412	0.4774			
0.4778	0.5116	0.5281	0.5333	0.6228	0.5792	0.5816		
0.5661	0.5697	0.5816	0.6476	0.6666	0.6986	0.7344	0.7150	0.7162
0.6448	0.6809	0.6729	0.6864	0.7454	0.7128	0.8489	0.7969	0.9155
0.6862	0.7589	0.7505	0.8486	0.8921	0.8717	0.9176	0.9310	0.9294
0.8078	0.8443	0.8628	0.8669	0.9510	0.9541	1.1317	1.0051	1.0992
0.8148	0.9222	0.8854	0.9948	1.0474	1.1551	1.1295	1.1898	1.2520
1.0022	0.9638	0.9849	1.0645	1.1087	1.1729	1.2642	1.3444	1.2294
1.0589	1.0555	1.0879	1.1975	1.2376	1.3276	1.3114	1.5127	1.5199
1.1507	1.1890	1.2817	1.3333	1.3447	1.4943	1.4824	1.6415	1.6531
1.1990	1.3196	1.3564	1.3864	1.5167	1.4784	1.5950	1.6597	1.7517
1.3287	1.3905	1.4814	1.5408	1.5337	1.5468	1.6851	1.8315	1.8547

29	30	31	32	33	34	35		
0.9391	0.8352							
	0.8843							
	1.2990							
1.2012	1.4968	1.6456						
1.3632	1.7289		1.8950					
1.3782	1.7560	1.9071	1.9817					
1.7415	1.6860	2.0231						
1.6839			2.1090					

22	23	24	25	26	27	28	29	30
1.5543	1.6901	1.7637	1.7528	1.7689	2.0681	1.8493		1.9527
1.7660	1.8939	1.7772	1.9063	2.2134	1.8546	2.6617	2.2697	2.4987
2.0199	1.8875	2.1952	2.1155	2.2864	2.6213	2.4100		
1.9246	2.0615	2.1987	2.3131	2.3690	2.5251			2.7352
1.9921	2.1436	2.3535	2.3872	2.3654	2.4402	2.6459	2.8012	3.4538
2.1882	2.5444		2.6559	2.7130				2.9906
2.3710	2.6600	2.4330	2.4582		2.8115			
2.6798	2.5398		2.7557		3.3677			
			3.2360					
2.9805					3.8108			
	3.1459		3.7492	3.9307			4.6811	
		3.9940						
4.4653		4.7134						
				7.6737				

31	32	33	34	35				
		2.4631						
	2.6200	2.8177						
2.5669								
2.8606		2.9136						
3.3374				3.4782				

2. 廉却済資料による材積式の再計算

廉却済資料 2,482 本を用いて既述した（1(2)資料吟味のための材積式の計算）方法で材積式を算出すると次のとおりである。

第15表 平方和、積和および相関係数の計算（廉却済資料）

$n = 2,482$	X_1	X_2	X_3	Y	
和 平 均	44,101.8 17.768654	284.653188 0.114687	5,870.300254 2.365149	1,927.3802 0.776543	
X_1	1. $S X_1^2$ など 2. 補正項 3. sX_1^2 など 4. $\sqrt{sX_1^2}$ など 5. 相関係数	864,262.34 783,629.6387 80,632.7013 283.9589782	5,870.300254 5,057.9040961 812.3961579 1473.491742 0.55134	127,040.88789155 104,307.33591533 22,733.55197622 33,290.55064 0.68288	41,499.89411 34,246.95250 7,252.94161 10,507.582340 0.69026
X_2	1. $S X_2^2$ など 2. 補正項 3. sX_2^2 など 4. $\sqrt{sX_2^2}$ など 5. 相関係数		59.57279281 32.64602637 26.92676644 5.18910073	1,219.10848181 673.24725295 545.86122886 608.355551 0.89727	391.97413202 221.04549493 170.92863709 192.016832 0.89018
X_3	1. $S X_3^2$ 2. 補正項 3. sX_3^2 など 4. $\sqrt{sX_3^2}$ など 5. 相関係数			27,628.69284674 13,884.13580665 13,744.55704009 117.23718280 0.99293	8,866.08754205 4,558.54169122 4,307.54585083 4,338.22998 0.99293
Y	1. $S Y^2$ 2. 補正項 3. sY^2 4. $\sqrt{sY^2}$				2,865.98068628 1,496.69397073 1,369.28671555 37.00387430

前と同様にして行列式の元の小数点を移動すれば、

$$B = DAD \begin{pmatrix} 8.06327013 & 8.123961579 & 2.27335519622 \\ 8.123961579 & 26.92676644 & 5.4586122886 \\ 2.273355197622 & 5.4586122886 & 1.374455704009 \end{pmatrix}$$

$$h = Dg\lambda \begin{pmatrix} 7.25294161 \\ 17.092863709 \\ 4.30754585083 \end{pmatrix} \quad \text{たゞし } \lambda = 10^{-1} \text{ とする}$$

原方程式 $A \cdot \mu = g$ を解くかわりに、

方程 式 $B \cdot v = h$ を簡略 Doolittle 法で解く。

第16表 簡略 Doolittle 法による解法

行	b_1	b_2	b_3	G	計	check
I 1)	8.06327013	8.123961579	2.273355198	7.25294161	25.713528517	7.25294161
	2)	26.92676644	5.458612289	17.09286371	57.60224018	17.09286371
	3)		1.374455704	4.307545851	13.413969042	4.307545851
II 4)	8.06327013	8.123961579	2.273355198	7.25294161	25.713528517	
	5)	1	0.0075269026	0.2819396053	0.8995037365	3.1889702444
III 6)		18.7416565935	3.1681457679	9.7853299145	31.6951322759	31.6951322759
	7)	1	0.1690429954	0.5221165945	1.6911595901	1.6911595899
IV 8)			0.1979539863	0.6085128767	0.8064668622	0.8064668630
	9)		1	3.074011734	4.074011730	4.074011734
V 12)		$v b_1 =$	0.0303229985			
11)		$v b_2 =$	0.0024764431			
10)		$v b_3 =$	3.074011734			

check

$$(0.0303229985)(8.06327013) + (0.0024764431)(8.123961579) + (3.074011734)(2.273355198) = 7.252941611$$

$$(0.0303229985)(8.123961579) + (0.0024764431)(26.92676644) + (3.074011734)(5.458612289) = 17.0928637$$

$$(0.0303229985)(2.273355198) + (0.0024764431)(5.458612289) + (3.074011734)(1.374455704) = 4.307545851$$

$$V_{33} = 5.0516790$$

check

$$V_{23} = -0.85395095 \quad V_{11}(8.06327013) + V_{12}(8.123961579) + V_{13}(2.273355198) \approx 1.00000000$$

$$V_{13} = -0.5638898274 \quad V_{12}(8.123961579) + V_{22}(26.92676644) + V_{23}(5.458612289) \approx 1.00000000$$

$$V_{22} = 0.19771150276 \quad V_{13}(2.273355198) + V_{23}(5.458612289) + V_{33}(1.374455704) \approx 1.00000000$$

$$V_{21} = 0.0415629357$$

$$V_{11} = 0.2411262609$$

回帰係数の計算

上記で得られた結果を元のオーダーに直すと、回帰数 b_1, b_2, b_3 は、

$$b_1 = 0.00303230$$

$$b_2 = 0.02476443$$

$$b_3 = 0.30740117$$

またC乗数は、

$$C_{11} = 0.0000241126$$

$$C_{12} = 0.1977115028$$

$$C_{33} = 0.0005051679$$

回帰に帰因する平方和

$$\sum y^2 = 1350.37067954$$

回帰からの偏差の平方和

$$sdyx_1x_2x_3^2 = 18.91603601$$

推定の誤差の分散と標準誤差

$$sy.x_1x_2x_3^2 = 0.00763359$$

$$sy.x_1x_2x_3 = 0.08737042$$

回帰係数の標準偏差

$$sb_1 = syx_1x_2x_3 / \sqrt{C_{11}} = 0.00042903$$

$$sb_2 = syx_1x_2x_3 / \sqrt{C_{22}} = 0.03884905$$

$$sb_3 = syx_1x_2x_3 / \sqrt{C_{33}} = 0.00199373$$

回帰係数の有意性の検定

$$tb_1 = \frac{b_1}{sb_1} = 7.068^{***}$$

$$tb_2 = \frac{b_2}{sb_2} = 0.637$$

$$tb_3 = \frac{b_3}{sb_3} = 156.539^{**}$$

すなわち、回帰係数 b_1 , b_3 は、きわめて有意であるが、 b_2 は 0 と考えることができる。したがって、材積式としては、 b_2 を省いた

$$Y = a + b_1 X_1 + b_3 X_3$$

を採用することとした。

念のために、偏相関係数を求める。

$$ryx_1x_2x_3 = 0.141^{**}$$

$$ryx_2x_1x_3 = 0.013$$

$$ryx_3x_1x_2 = 0.963^{**}$$

となり、H と $D^2 H$ を固定したとき、 D^2 と Vとの関連は非常に小さいことが分る。

新たに採用した $Y = a + b_1 X_1 + b_3 X_3$ の回帰係数、重相関係数およびその有意性の検定結果を次に示す。

回帰係数

$$b_1 = 0.00298024$$

$$b_3 = 0.30847079$$

回帰に帰因する平方和

$$\sum y^2 = 1350.36758964$$

回帰からの偏差平方和

$$sdyx_1x_3^2 = 18.91912591$$

推定の誤差の分散と標準誤差

$$syx_1x_3^2 = 0.00763176$$

$$syx_1x_3 = 0.08735993$$

回帰係数の標準誤差

$$sb_1 = 0.00042113$$

$$sb_3 = 0.00102002$$

回帰係数の有意性の検定

$$tb_1 = 7.076^{**}$$

$$tb_3 = 302.415^{**}$$

重相関係数

$$R = 0.99307$$

重相関係数の有意性の検定

変動因	自由度	平方和	平均平方
回帰	2	1350.36753964	675.18379482
推定の誤差	2,479	18.91912591	0.00763176
全体	2,481	1369.28671555	

$$F = 88470.26^{**}$$

3. 10cm直径級別材積式の比較

調整要綱に基き資料を第18表のように10cm直径級に分け、各直径級の材積式を求め、この間の差を統計的検定を行い、差のなかった直径級を一括する。ただし、胸高52cm以上は、資料数が少ないので、52~96cmとして一括した。

10cm直径級別平方和、積和、相関係数および回帰係数

第18表 10cm直径級別積和および二乗和など

直 径 級	本数	S X ₁	S X ₃	S Y	S X ₁ ²	S X ₃ ²	S Y ²
cm	本						
4~10	233	1,782.0	12.8574232	5.6941	15,251.76	1.07036123	0.20511117
12~20	457	6,563.0	192.2590510	72.6584	100,624.62	99.16193113	13.97775358
22~30	577	10,228.0	712.3652087	251.6194	190,762.98	988.29242367	122.98882852
32~40	606	12,125.9	1,582.7233786	528.5564	253,269.95	4,467.28510198	499.70276852
42~50	401	8,697.0	1,775.5365583	567.1097	194,708.28	8,234.29800621	843.36027035
52~96	208	4,705.9	1,594.5586345	501.7422	109,644.75	13,838.58502252	1,385.74595414
計	2,482	44,101.8	5,870.300254	1,927.3802	864,262.34	27,628.69284674	2,865.98068628

直 径 級	S X ₁ X ₃	S X ₁ Y	S X ₃ Y
cm			
4~10	119.70963270	52.39540	0.46524520
12~20	3,036.60347936	1,142.00473	37.02252596
22~30	13,429.37374977	4,732.27982	346.85561477
32~40	33,226.58606834	11,087.40831	1,486.82247179
42~50	39,767.51259051	12,697.34140	2,626.47342779
52~96	37,461.10237087	11,788.46445	4,368.44825654
計	127,040.88789155	41,499.89411	8,866.08754205

第19表 直径級別平方和および積和

直 径 級	本数	sx_1^2	sx_3^2	sy^2	sx_1x_3	sx_1y	sx_3y
cm 4~10	233	1,622.9016	0.36086196	0.06595763	21.37517715	8.84653219	0.15103295
12~20	457	6,373.046696	18.27890555	2.42579933	275.56157189	98.55379083	6.45527207
22~30	577	9,459.714835	108.80509167	13.26209983	801.86706938	272.03159955	36.23586366
32~40	606	10,633.892558	333.59979763	38.69308538	1,556.70913531	511.13429884	106.36278301
42~50	401	6,085.314913	372.62701171	41.33181191	1,259.17981015	397.70783167	115.44099700
52~96	208	3,175.942308	1,614.46367419	175.43232308	1,384.97986872	436.78839721	522.01865292
計	2,482	80,632.7013	13,744.55704009	1,369.28671555	22,733.55197622	7,252.94161	4,307.54585083

第20表 直径級別回帰係数

直 径 級	b_1	b_3	
cm 4 ~ 10	-0.00027954	0.43509391	
12 ~ 20	0.00055800	0.34474200	
22 ~ 30	0.00146562	0.32195763	
32 ~ 40	0.00439311	0.29833349	
42 ~ 50	0.00415781	0.29575302	
52 ~ 96	-0.00554840	0.32809848	

第21表 直径級別回帰に帰因する平方和など

直 径 級	\wedges_y^2	$sdyx_1x_3^2$	$syx_1x_3^2$
cm 4 ~ 10	0.06324049	0.00271714	0.000011814
12 ~ 20	2.28039617	0.14540316	0.00032027
22 ~ 30	12.05545034	1.20664979	0.0021022
32 ~ 40	33.97704812	4.71603726	0.0073210
42 ~ 50	35.79561808	5.53619383	0.013910
52 ~ 96	168.85004953	6.58227355	0.032109

分散の一様性の検定

回帰係数の差の検定を行うに先だって、各直径級の分散が一様であるか、どうかを検定するためパートレットの検定を行った。（第22表）

第22表 分 散 の 一 様 性 の 検 定

直径級	$S dyx_1 x_3^2$	fr	$n-3$	$syx_1 x_3^2 = sr^2$	$\log sr^2$	$fr \cdot \log sr^2$	$1/fi$
cm 4~10	0.00271714	233	230	0.000011814	-4.9276030	-1133.3486900	0.004348
12~20	0.14540316	457	454	0.00032027	-3.4944837	-1586.4955998	0.002203
22~30	1.20664979	577	574	0.0021022	-2.6773260	-1536.7851240	0.001742
32~40	4.71603726	606	603	0.0078210	-2.1067377	-1270.3628331	0.001658
42~50	5.53619383	401	398	0.013910	-1.8566729	-738.9558142	0.002513
52~96	6.58227355	208	205	0.032109	-1.4935732	-306.1415060	0.004878
計	18.18927473		2,464			-6572.0895671	0.017342

(1) 4 cm以上の直径級を一括した場合

$$S^2 = 0.0073820$$

$$\log S^2 = -2.1318260$$

$$\chi^2 = 2.3026 \times 1319.2703031 = 3,039.07^{**}$$

$$C = 1 + \frac{1}{3 \times 5} (0.017342 - 0.000406) = 1.001129$$

$$\frac{\chi^2}{C} = 3,035.643$$

$$\text{補正された } \chi^2 = 3,035.643 > P(\chi^2)_{0.05} (= 11.070) \quad d.f. = 5$$

有意差あり、4~96cmは一括できない。

(2) 4~50cm直径級を一括した場合、

$$\chi^2 = 2,520.54$$

$$\text{補正項 } C = 1.00100$$

$$\text{補正された } \chi^2 = 2,518.02^{**} \quad d.f. = 4$$

有意差あり、4~60cmは一括できない。

(3) 4~40cm直径級を一括した場合

$$\chi^2 = 2,071.44$$

$$\text{補正項 } C = 1.00105$$

$$\text{補正された } \chi^2 = 2,069.28^{**} \quad d.f. = 3$$

有意差あり、4~40cmは一括できない。

(4) 4~30cm直径級を一括した場合

$$\chi^2 = 1,204.50$$

$$\text{補正項 } C = 1.00125$$

$$\text{補正された } \chi^2 = 1,203.00^{**} \quad d.f. = 2$$

有意差あり、4~30cmは一括できない。

(5) 4~20cm直径級を一括した場合

$$F = 27.109^{**}$$

有意差あり、4~20cmは一括できない。

(6) 12cm以上の直径級を一括した場合

$$\chi^2 = 1,775.70$$

$$\text{補正項C} = 1.000105$$

$$\text{補正された}\chi^2 = 1,775.84^{**} \quad \text{d.f.} \quad 4$$

有意差あり、12cm以上は一括できない。

(7) 12~50cmの直径級を一括した場合

$$\chi^2 = 1,340.65$$

$$\text{補正項C} = 1.000085$$

$$\text{補正された}\chi^2 = 1,339.51^{**} \quad \text{d.f.} \quad 3$$

有意差あり、12~50cmは一括できない。

(8) 12~40cmの直径級を一括した場合

$$\chi^2 = 993.10$$

$$\text{補正項C} = 1.000083$$

$$\text{補正された}\chi^2 = 992.27^{**} \quad \text{d.f.} \quad 2$$

有意差あり、12~40cmは一括できない。

(9) 12~30cmの直径級を一括した場合

$$F = 6.564^{*}$$

有意差あり、12~30cmは一括できない。

(10) 22cm以上の直径級を一括した場合

$$\chi^2 = 235.09$$

$$\text{補正項C} = 1.000085$$

$$\text{補正された}\chi^2 = 234.89 \quad \text{d.f.} \quad 3$$

有意差あり、22cm以上は一括できない。

(11) 22~50cm直径級を一括した場合

$$\chi^2 = 411.10$$

$$\text{補正項C} = 1.000088$$

$$\text{補正された}\chi^2 = 410.74^{**} \quad \text{d.f.} \quad 2$$

有意差あり、22~50cmは一括できない。

(12) 22~40cm直径級を一括した場合

$$\chi^2 = 235.09$$

$$\text{補正項C} = 1.000085$$

$$\text{補正された}\chi^2 = 234.89^{**} \quad \text{d.f.} \quad 1$$

有意差あり、22~40cmは一括できない。

(13) 32cm以上の直径級を一括した場合

$$\chi^2 = 78.15$$

$$\text{補正項C} = 1.00137$$

$$\text{補正された}\chi^2 = 78.05 \quad d.f = 2$$

有意差あり、32cm以上は一括できない。

(14) 32~50cmの直径級を一括した場合

$$F = 1.778^*$$

有意差あり、32~50cmは一括できない。

以上各直径級を一括して分散の一様性の検定を行った結果、いずれも一様であるとは認められなかった。

この結果、6つの直径級にはそれぞれ別の材積式を適用する必要がある。

4. 材積式の決定と材積表の作成

$\Delta Y = a + b_1 X_1 + b_3 X_3$ に第20表に示した回帰係数 b_1, b_3 の値を入れると次のようになる。

第23表 材 積 式

直径級	本 級	材 積 式
4~10	233	$\Delta Y = 0.00257 - 0.000280 X_1 + 0.435094 X_3$
12~20	457	$\Delta Y = 0.00594 + 0.000558 X_1 + 0.344742 X_3$
22~30	577	$\Delta Y = 0.01261 + 0.001466 X_1 + 0.321958 X_3$
32~40	606	$\Delta Y = 0.00513 + 0.004393 X_1 + 0.298333 X_3$
42~50	401	$\Delta Y = 0.01454 + 0.004158 X_1 + 0.295753 X_3$
52以上	208	$\Delta Y = 0.02250 - 0.005548 X_1 + 0.328098 X_3$

第23表の材積式を用いて材積表を作成した。なお、表の数値をグラフに図示したところ、22~30cmと32~40cm、および42~50cmと52cm以上の直径級の境に不連続な点が認められたので、直径50、32、50、52cmの各材積はその付近の3点移動平均法で修正した。

第24表 材 積 表

18	20	22	24	26	28	30
0.076	0.092					
0.088	0.106	0.132	0.153	0.175	0.200	0.227
0.100	0.121	0.149	0.173	0.198	0.226	0.257
0.111	0.135	0.166	0.193	0.222	0.253	0.287
0.123	0.149	0.183	0.213	0.245	0.280	0.317
0.135	0.164	0.200	0.233	0.268	0.306	0.347
0.147	0.178	0.217	0.253	0.291	0.333	0.378
0.158	0.192	0.234	0.273	0.315	0.360	0.409
0.170	0.207	0.251	0.293	0.338	0.387	0.440
0.182	0.221	0.268	0.313	0.361	0.413	0.470
0.194	0.236	0.285	0.333	0.384	0.440	0.501
0.205	0.250	0.302	0.353	0.403	0.467	0.532
0.217	0.264	0.319	0.373	0.431	0.493	0.563
0.229	0.279	0.337	0.393	0.454	0.520	0.593
0.240	0.293	0.354	0.413	0.477	0.547	0.624
0.252	0.307	0.371	0.433	0.500	0.573	0.655
0.264	0.322	0.388	0.453	0.524	0.600	0.685
0.276	0.336	0.405	0.473	0.547	0.627	0.716
0.287	0.350	0.422	0.493	0.570	0.654	0.747
0.299	0.365	0.439	0.513	0.593	0.680	0.778
0.311	0.379	0.456	0.533	0.617	0.707	0.808
		0.473	0.553	0.640	0.734	0.839
		0.490	0.573	0.663	0.760	0.870
		0.507	0.593	0.686	0.787	0.900
		0.524	0.613	0.710	0.814	0.931

樹高 <i>m</i>	胸高直徑 <i>cm</i>	32	34	36	38	40	42	44	46
9	0.321	0.355	0.393	0.432	0.474				
10	0.355	0.394	0.436	0.480	0.526				
11	0.390	0.433	0.479	0.527	0.579	0.634	0.690	0.749	
12	0.425	0.472	0.522	0.575	0.631	0.690	0.752	0.815	
13	0.459	0.511	0.565	0.622	0.683	0.747	0.813	0.882	
14	0.494	0.549	0.608	0.670	0.735	0.803	0.874	0.949	
15	0.529	0.588	0.651	0.717	0.787	0.859	0.936	1.016	
16	0.564	0.627	0.694	0.765	0.839	0.916	0.997	1.082	
17	0.598	0.666	0.737	0.812	0.891	0.972	1.059	1.149	
18	0.633	0.705	0.780	0.860	0.943	1.028	1.120	1.216	
19	0.668	0.744	0.823	0.907	0.996	1.085	1.181	1.283	
20	0.703	0.783	0.866	0.955	1.048	1.141	1.243	1.349	
21	0.738	0.822	0.909	1.002	1.100	1.197	1.304	1.416	
22	0.772	0.861	0.952	1.050	1.152	1.254	1.366	1.483	
23	0.807	0.899	0.995	1.097	1.204	1.310	1.427	1.550	
24	0.842	0.938	1.038	1.144	1.256	1.366	1.489	1.616	
25	0.877	0.977	1.082	1.192	1.308	1.423	1.550	1.683	
26	0.911	1.016	1.125	1.239	1.360	1.479	1.611	1.750	
27	0.946	1.055	1.168	1.287	1.413	1.535	1.673	1.817	
28	0.981	1.094	1.211	1.334	1.465	1.592	1.734	1.883	
29	1.015	1.133	1.254	1.382	1.517	1.648	1.796	1.950	
30	1.050	1.172	1.297	1.429	1.569	1.704	1.857	2.017	
31	1.085	1.210	1.340	1.477	1.621	1.761	1.918	2.083	
32	1.120	1.249	1.383	1.524	1.673	1.817	1.980	2.150	
33	1.155	1.288	1.426	1.572	1.725	1.873	2.041	2.217	
34	1.190	1.327	1.469	1.619	1.777	1.930	2.103	2.284	
35	1.225	1.366	1.512	1.667	1.830	1.986	2.164	2.350	
36						2.042	2.226	2.417	
37						2.099	2.287	2.484	
38						2.155	2.348	2.551	
39						2.211	2.410	2.617	
40						2.268	2.471	2.684	

48	50	52	54	56	58	60	62	64
0.810	0.873							
0.882	0.951							
0.954	1.029	1.109	1.194	1.288	1.385	1.486	1.590	1.697
1.027	1.107	1.193	1.284	1.385	1.490	1.598	1.711	1.826
1.099	1.185	1.277	1.374	1.483	1.595	1.711	1.831	1.955
1.171	1.263	1.361	1.465	1.580	1.700	1.824	1.952	2.084
1.244	1.341	1.444	1.555	1.677	1.805	1.936	2.072	2.213
1.316	1.419	1.528	1.645	1.775	1.909	2.049	2.193	2.342
1.388	1.496	1.612	1.735	1.872	2.014	2.161	2.313	2.470
1.461	1.574	1.696	1.825	1.869	2.119	2.274	2.434	2.599
1.533	1.652	1.780	1.915	2.067	2.224	2.386	2.555	2.728
1.605	1.730	1.863	2.005	2.164	2.329	2.499	2.675	2.857
1.677	1.807	1.947	2.095	2.261	2.433	2.612	2.796	2.986
1.750	1.886	2.031	2.186	2.359	2.538	2.724	2.916	3.115
1.822	1.964	2.115	2.276	2.456	2.643	2.837	3.037	3.244
1.894	2.041	2.199	2.366	2.553	2.748	2.949	3.157	3.372
1.967	2.119	2.282	2.456	2.651	2.853	3.062	3.278	3.501
2.039	2.197	2.366	2.546	2.748	2.958	3.174	3.399	3.630
2.111	2.275	2.450	2.636	2.845	3.062	3.287	3.519	3.759
2.184	2.353	2.534	2.726	2.943	3.167	3.400	3.640	3.888
2.256	2.431	2.618	2.816	3.040	3.272	3.512	3.760	4.017
2.328	2.509	2.702	2.907	3.137	3.377	3.625	3.881	4.145
2.400	2.586	2.785	2.997	3.235	3.482	3.737	4.001	4.274
2.473	2.664	2.869	3.087	3.332	3.587	3.850	4.122	4.403
2.545	2.742	2.953	3.177	3.430	3.691	3.962	4.243	4.532
2.617	2.820	3.037	3.267	3.527	3.796	4.075	4.363	4.661
2.690	2.898	3.120	3.357	3.624	3.901	4.187	4.484	4.790
2.762	2.976	3.204	3.447	3.722	4.006	4.300	4.604	4.918
2.834	3.053	3.288	3.537	3.819	4.111	4.413	4.725	5.047
2.907	3.131	3.372	3.628	3.916	4.215	4.525	4.845	5.176

66	68	70	72	74	76	78	80	82
1.803	1.923	2.040	2.162	2.286	2.414	2.545	2.680	2.818
1.946	2.069	2.196	2.326	2.460	2.598	2.739	2.885	3.033
2.083	2.215	2.351	2.491	2.634	2.782	2.934	3.089	3.243
2.220	2.361	2.506	2.655	2.808	2.966	3.128	3.293	3.464
2.358	2.507	2.661	2.820	2.983	3.150	3.322	3.498	3.679
2.495	2.653	2.816	2.984	3.157	3.334	3.516	3.702	3.894
2.633	2.800	2.972	3.149	3.331	3.518	3.710	3.907	4.109
2.770	2.946	3.127	3.313	3.505	3.702	3.904	4.111	4.324
2.907	3.092	3.282	3.478	3.679	3.886	4.098	4.316	4.539
3.045	3.238	3.437	3.642	3.853	4.070	4.292	4.520	4.754
3.182	3.384	3.593	3.807	4.027	4.254	4.486	4.725	4.969
3.319	3.530	3.748	3.971	4.201	4.438	4.680	4.929	5.184
3.457	3.677	3.903	4.136	4.375	4.622	4.874	5.133	5.399
3.594	3.823	4.058	4.300	4.550	4.805	5.068	5.338	5.614
3.732	3.969	4.213	4.465	4.724	4.989	5.262	5.542	5.829
3.869	4.115	4.369	4.630	4.898	5.173	5.456	5.747	6.044
4.006	4.261	4.524	4.794	5.072	5.357	5.650	5.951	6.259
4.144	4.407	4.679	4.959	5.246	5.541	5.845	6.156	6.474
4.281	4.554	4.834	5.123	5.420	5.725	6.039	6.360	6.690
4.418	4.700	4.990	5.288	5.594	5.909	6.233	6.564	6.905
4.556	4.846	5.145	5.452	5.768	6.093	6.427	6.769	7.120
4.693	4.992	5.300	5.617	5.943	6.277	6.621	6.973	7.335
4.831	5.138	5.455	5.781	6.117	6.461	6.815	7.178	7.550
4.963	5.284	5.610	5.946	6.291	6.645	7.009	7.382	7.765
5.105	5.431	5.766	6.110	6.465	6.829	7.203	7.587	7.980
5.243	5.577	5.921	6.275	6.639	7.013	7.397	7.791	8.195
5.380	5.723	6.076	6.439	6.813	7.197	7.591	7.995	8.410
5.517	5.869	6.231	6.604	6.987	7.381	7.785	8.200	8.625

84	86	88	90	92	94	96	98	100
2.960	3.105	3.253	3.405	3.561	3.719	2.881	4.047	4.216
3.186	3.342	3.502	3.665	3.833	4.004	4.178	4.356	4.538
3.412	3.579	3.750	3.926	4.105	4.288	4.475	4.666	4.861
3.638	3.816	3.999	4.186	4.377	4.572	4.772	4.975	5.183
3.864	4.053	4.248	4.446	4.649	4.857	5.069	5.285	5.506
4.090	4.291	4.496	4.706	4.921	5.141	5.365	5.595	5.828
4.316	4.528	4.745	4.967	5.193	5.425	5.662	5.904	6.151
4.542	4.765	4.993	5.227	5.466	5.710	5.959	6.214	6.474
4.768	5.002	5.242	5.487	5.738	5.994	6.256	6.523	6.796
4.994	5.239	5.490	5.747	6.010	6.278	6.553	6.833	7.119
5.220	5.476	5.739	6.007	6.282	6.563	6.850	7.142	7.441
5.445	5.713	5.987	6.268	6.554	6.847	7.146	7.452	7.764
5.671	5.950	6.236	6.528	6.826	7.131	7.443	7.761	8.086
5.897	6.187	6.484	6.788	7.099	7.416	7.740	8.071	8.409
6.123	6.425	6.733	7.048	7.371	7.700	8.037	8.381	8.731
6.349	6.662	6.981	7.308	7.643	7.985	8.334	8.690	9.054
6.575	6.899	7.230	7.569	7.915	8.269	8.630	9.000	9.376
6.801	7.136	7.478	7.829	8.187	8.553	8.927	9.309	9.699
7.027	7.373	7.727	8.089	8.459	8.838	9.224	9.619	10.022
7.253	7.610	7.975	8.349	8.731	9.122	9.521	9.928	10.344
7.479	7.847	8.224	8.609	9.004	9.406	9.818	10.238	10.667
7.705	8.084	8.473	8.870	9.276	9.691	10.115	10.547	10.989
7.931	8.321	8.721	9.130	9.548	9.975	10.411	10.857	11.312
8.157	8.559	8.970	9.390	9.820	10.259	10.708	11.167	11.634
8.383	8.796	9.218	9.650	10.092	10.544	11.005	11.476	11.957
8.609	9.033	9.467	9.911	10.364	10.1828	11.302	11.786	12.279
8.835	9.270	9.715	10.171	10.637	11.113	11.599	12.095	12.602
9.061	9.507	9.964	10.431	10.909	11.397	11.896	12.405	12.925

5. 材積表の適合度

材積表の適合度は調製要綱に基き誤差率によって行なう。

誤差率の計算は次式で行なう。

$$\text{誤差率 (\%)} = \frac{\text{標準誤差} \times t}{\text{平均値}} \times 100 \times \frac{1}{\sqrt{n}}$$

t = 95%信頼度のt表の値

標準誤差と誤差率は次のとおりである。

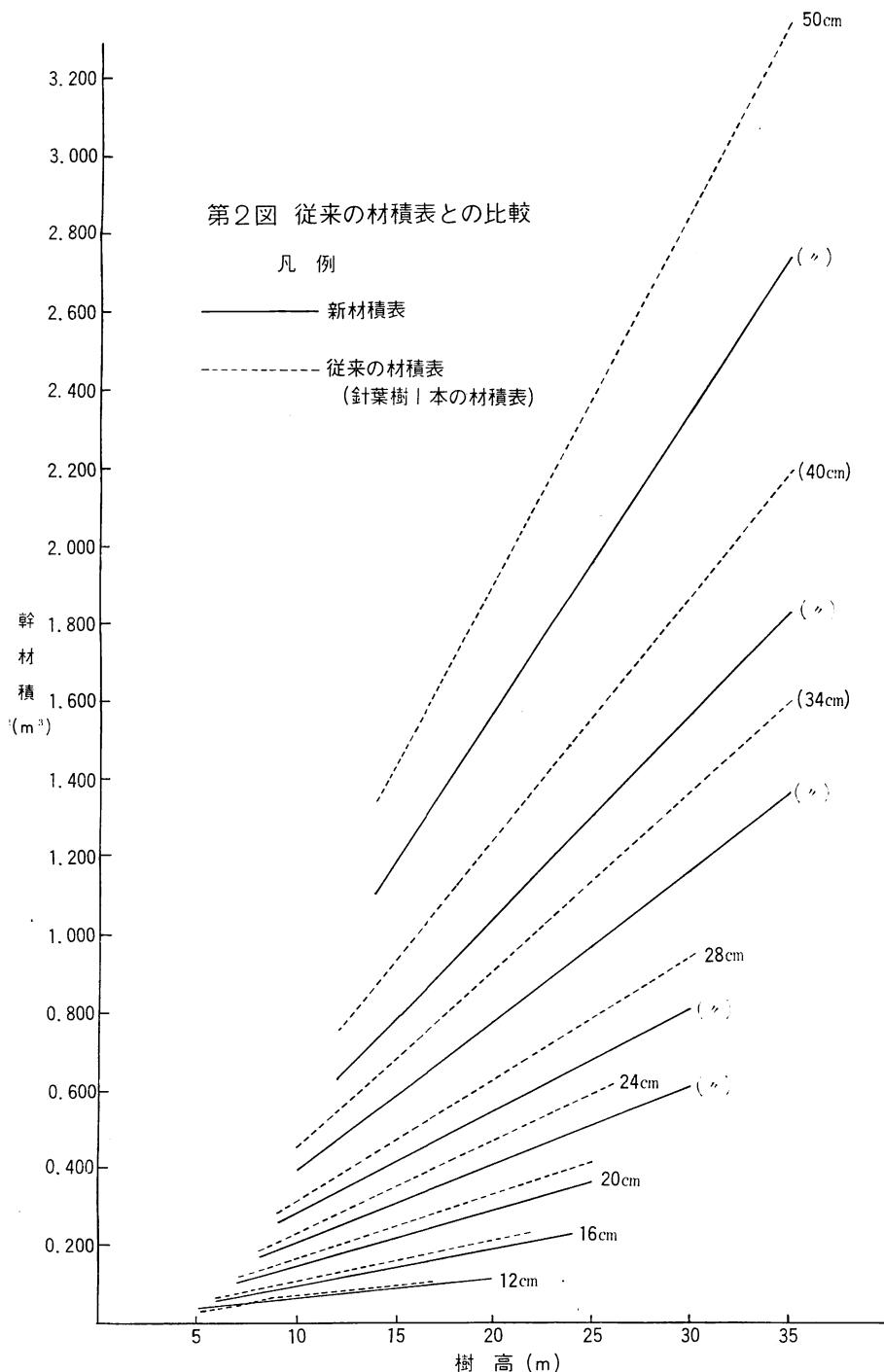
直 径 級	標 準 誤 差	誤 差 率
4 ~ 10 cm	0.003437 m ³	1.828
12 ~ 20	0.017896	1.035
22 ~ 30	0.045850	0.860
32 ~ 40	0.088436	0.809
42 ~ 50	0.117941	0.819
52 以 上	0.179190	1.023

6. 材積表使用上の注意

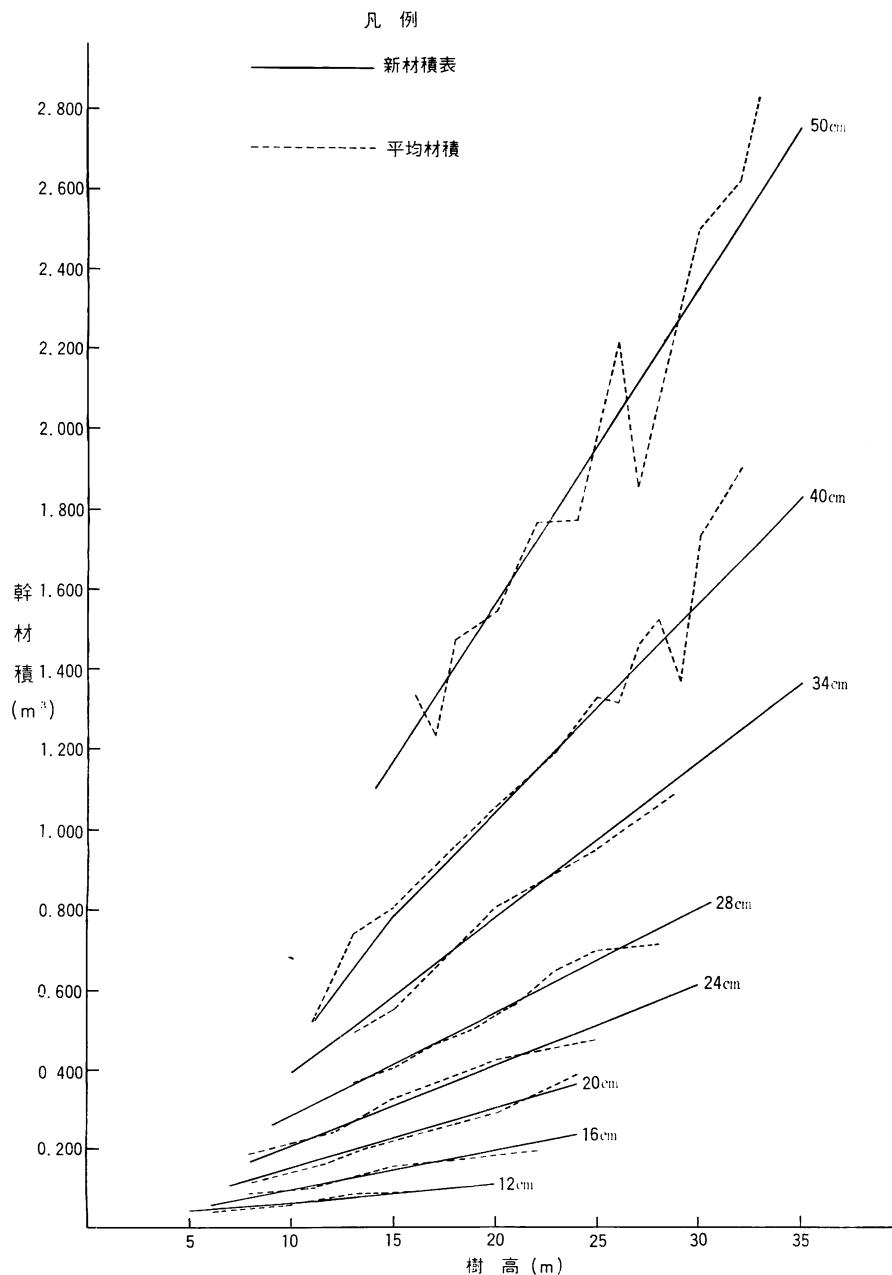
1. 本材積表は高知営林局管内のアカマツに適用される。
 2. 本材積表は毎木の胸高直徑（地上1.2m）、樹高を測定して幹材積を求めるためのものである。
 3. 本材積表は胸高直徑2cm、樹高1mごとに材積を掲げたもので、幹材積は m^3 を単位とし、単位以下3位にとどめ、端数は4捨5入したものである。
なお、胸高直徑4~6cmの一部は単位以下4位まで示してある。
 4. 本表の幹材積は、次の材積式で算出した値である。
- ただし、直徑30、32、50、52cmの値は、その付近の3点移動平均法で修正したものである。

直 径 範 囲	材 積 式
4 ~ 10 <i>cm</i>	$v = 0.00257 - 0.000280h + 0.435094d^2h$
12 ~ 20	$v = 0.00594 + 0.000558h + 0.344742d^2h$
22 ~ 30	$v = 0.01261 + 0.001466h + 0.321958d^2h$
32 ~ 40	$v = 0.00513 + 0.004393h + 0.298333d^2h$
42 ~ 50	$v = 0.01454 + 0.004158h + 0.295753d^2h$
52 以 上	$v = 0.02250 - 0.005548h + 0.328098d^2h$

ただし、 v = 幹材積 (m^3)、 d = 胸高直徑 (m)、 h = 樹高 (m)



第3図 平均材積との比較



第 5 調製年月日および調製担当者官氏名

1. 調製年月日

昭和39年1月

2. 調製担当者官氏名

計画課長	農林技官	秋葉公
前計画課長	同	川島正子
主査	同	北本浩(32.4~)
係官	同	浜田寛憲(36.4~37.3)
同		金沢泰輔(37.4~)

第 6 引用ならびに参考文献

- | | | |
|----------------------|------------|-------|
| (1) 主要樹種立木材積表調製要綱 | 林野庁 | 昭和30年 |
| (2) 立木材積表調製法解説書 | 林業試験場経営部 | 昭和31年 |
| (3) 高知営林局オニセイ経営計画書 | | |
| (4) スネデカー統計的方法上下 | 岩波書店 | 昭和27年 |
| (5) 嶺一三、測樹 | 朝倉書店 | 昭和27年 |
| (6) 木梨謙吉、推計学を基とした測樹学 | " | 〃 29年 |
| (7) 材積表の検定について | 日本林学会誌大友栄松 | 昭和31年 |

材積表調製業務資料 第51号

昭和39年6月1日印刷

昭和39年6月10日発行

高知営林局

アカマツ立木材積表調製説明書

発行 林野庁
高知営林局
高知市丸の内9
電話⑨-1111